

令和 2 年 12 月 11 日
自動車局技術・環境政策課

ドライバーの居眠りや脇見を検知するドライバーモニタリングシステムの ガイドラインを策定しました！

国土交通省では、安全運転を継続できない可能性のある居眠りや脇見等のドライバー状態を検知し、ドライバーに報知するシステムのガイドラインを策定しました。

これらのガイドラインにより、自動車メーカー等における開発が促進され、同システムを搭載した車両の早期実用化・普及が期待されます。

国土交通省では、先進安全自動車(ASV^{※1})技術の実用化による交通事故の削減に向けて、産学官の有識者・関係者で構成される「先進安全自動車(ASV)推進検討会」において、自動運転の実現に必要なASV技術について、開発・実用化・普及を促進しています。

今般、下記のとおり、ガイドラインの策定等を行いましたのでそれらについて公表いたします。

① ガイドラインの策定

- ドライバーモニタリング(眠気・居眠り検知)システム ガイドライン
- ドライバーモニタリング(脇見等検知)システム ガイドライン

これらのガイドラインは、ドライバーの眠気・居眠り、脇見により安全運転を継続できない可能性のあるドライバー状態を検知し、ドライバーに報知するドライバーモニタリングシステムについて、眠気・居眠り、脇見のそれぞれについて開発等の指針を示したものです。

② その他

- ドライバー異常時対応システム ドライバー異常自動検知システム基本設計書・附則 作動データ記録装置 ガイドラインの策定^{※2}
- ドライバー異常自動検知システム ガイドライン等の改訂^{※2}
- 令和元年 ASV 技術普及台数調査^{※2}
- 主要な ASV 技術の概要及び自動運転関連用語の概説とりまとめ^{※3}
- 自動運転レベル3以降の車両の呼称^{※3}

※1 ASVとは、Advanced Safety Vehicle の略で、先進技術を利用してドライバーの安全運転に資するシステムを搭載した自動車のことです。ASV 推進検討会については下記ホームページをご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/01asv/japanese/planning6.html>

※2 下記ホームページにて公開

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/01asv/documents.html>

※3 令和2年12月11日プレスリリース参照

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000353.html

【お問い合わせ先】

自動車局 技術・環境政策課 玉屋、林、八田

代表：03-5253-8111（内線 42254）、直通：03-5253-8591、FAX：03-5253-1639